

SUZUCHU VOL.2 NOW

2005

夏

発行日 2005年7月1日
発行 鈴鹿中央総合病院
編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 0593-82-1311
URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
編集協力 TCK名古屋

SUZUCHU NOW VOL.2 2005 夏

発行日 2005年7月1日

発行 鈴鹿中央総合病院

編集

鈴鹿中央総合病院広報委員会

〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53

TEL 0593-82-1311 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/ 編集協力 TCK名古屋

【道】

「その先にあるもの」病診連携のつながる強化へ



Salon de news

第12回病院祭が開催されました。
ご存じですか？病院ボランティア

からだの春夏秋冬
熱中症

院内【知っ得!辞典】
輸血療法委員会

紙面でクッキング

熱中症の予防に効果のあるレシピ!

より安心・安全な輸血に向けて



輸血療法委員会 輸血責任医師
日本輸血学会認定医
川上 恵基

院内 知っ得! 辞典

輸血療法委員会

輸血療法が、より安全に、より有効に行われるよう、さまざまな面から検討を重ね、最善策を追求する。それが輸血療法委員会の役割です。

たメンバーで構成されています。輸血に関する事故防止マニュアルを作成するなど、徹底した安全対策に取り組むとともに、輸血療法に用いる血液製剤は献血による貴重な血液であり、この限られた資源を有効に活用するための管理も輸血療法委員会の役割です。

当院は日本輸血学会の認定施設となっており、認定医、認定輸血検査技師などの有資格者が在籍しています。また、周辺の医療機関と連携しながら、輸血療法に関するI&A()も推進しています。今後も、より安心・安全な輸血体制づくりに向けて、さまざまな取り組みを進めていきます。

I & A
IはInspection(点検・視察)、AはAccreditation(認証)。より良い輸血療法体制をつくるための「第三者」による客観的なチェックシステム。

ご意見にお答えします! Q&A

Q 主治医を選べる制度はないのですか?

A 現在はありませんが、主治医は疾患と医の専門性を考慮し各科で決めております。科全体で最善を検討し治療方針を決めていますことをご理解ください。

紹介患者優先診療を改善してください。

当院は地域医療支援病院の認定を受けており、お一人おひとりに効率的で最善の医療を提供するため

に地域医療機関との役割分担と連携に努めています。ご理解とご協力をお願いいたします。

他病院では説明に納得できず、こちらの病院を受診しました。呼吸器外科の深井先生や水野先生の真摯な対応に深く感動いたしました。また、全職員が「丸」となって全力投球している姿が印象的でした。お褒めのお言葉ありがとうございます。全科で「ついつい」お褒めをいただけるようさらなる努力をさせていただきます。

誌面でクッキング

熱中症の予防に効果のあるレシピ!



管理栄養士 中原さおり (なかはらさおり)



材料作り方はホームページに掲載してあります。

TOP画面 患者さま NEWS&TOPICSの体にやさしいレシピでご覧いただけます。 http://www.miekosei.or.jp/2_sch/

暑くなってきた、食欲がなくなる時期になり熱中症にかかりやすい体になりがちです。今回は暑い時期にぴったりレシピを紹介いたします。

スナックエンドウSUNNIBO
食欲がなくてもさっぱりして食べやすく、スナックエンドウや人参の酢和えとヒリ辛のひき肉そぼろの韓流スタミナレシピ。

切り昆布梅肉和え
作り置きもでき、昆布は不足しがちなミネラル補給を担い、梅干し

Coffee Break



SALON DE NEWS

鈴中ニュース

第12回病院祭が 開催されました。

5月22日(日)あいにくの天気にもかかわらず、多くの方が病院祭にお越しいただき今回も盛大に開催する事ができました。外では模擬店や野菜直売会、院内では白子高校ブラスバンドによる演奏やフリーマーケット、深井医師による「肺がん」についての講演、餅つきなど皆さまが楽しめる内容を実施しました。年に1回の病院祭ですが皆さまの笑顔と笑い声が絶えない明るい院内が印象的でした。来年も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

「ご存じですか?」 病院ボランティア

赤いエプロン姿の女性達を見かけたことはありませんか?彼女たちは普段から病院に来院される患者さまのお手伝いをしていただいているボランティアの方達です。車椅子の介助や自動再来受付機などの操作を行い患者さまのスムーズな受診を支えています。また、入院患者さまの話し相手になったり、院内で使用する小物類を作成したりと活動は多岐に渡ります。ボランティアの暖かな心遣いと活動が当院の最善の医療を支えています。



地域医療支援病院の認定取得から2年。これからの鈴鹿中央総合病院を語る上で欠かせない「病診連携」の現状と今後の取り組みについて加藤副院長に話を聞いた。



副院長 加藤正美

「地域医療支援病院」としての大切な使命

病院完結型の医療から、地域完結型の医療へ。このような考えのもと、厚生労働省が「病診連携」(1)の方針を打ち出し始めて久しい。医療界で変革が進む中、鈴鹿中央総合病院は2004年4月、三重県下で初めて、地域医療支援病院(2)の認定を取得した。それはつまり、診療所では対応が困難な救急医療・高度医療を提供し、また、地域全体の医療レベルを向上させる使命を担う病院となったことを意味する。その実現に向けて欠かせない「病診連携の強化」について加藤副院長に話を聞いた。

道

「病診連携」

...その先にあるもの

のさらなる強化へ

副院長は「着実に成果は上がっています」と語る。「救急治療や紹介患者さまの割合はこの2年間で大幅に向上し、機器の共同利用、研修会開催の実績も着実に積み重ねています。また、逆紹介(3)についても積極的に取り組んでいく予定です。登録医(4)の皆さまとの信頼関係はより強固なものとなっております」

病棟再編成により、さらなる質の高い医療の提供へ

病診連携のさらなる強化に向けて、現在、2つの計画が進んでいるという。一つは病棟の再編成である。高度医療を提供する病院としての機能をさらに高めることが目的だ。「関連する診療科間の意志疎通がよりスムーズにより緊密になるよう、現在、病棟再編成を計画中です」



再編成後は、患者さまにより満足いただける質の高い医療を提供することができるようと確信しています。もう一つは、ホームページ上での情報開示である。

「地域の医療機関の先生方に当院の特徴をさらに理解していただけるよう、ホームページで各診療科の症例数や機器を公開するための準備を進めています。現在は印刷物を使用していますが、これをすべてWebと併用していく予定です」

では、病診連携の強化における今後の課題とは何か。「登録医の皆さまとの情報の共有をよりスムーズにすることですね。電子カルテ(5)の導入も視野に入れて検討を進めています。またさらに多くの患者さまに病診連携へのご理解をいただきたいと考えています。診療所の主治医と当院の主治医、一人の主治医がそれぞれの専門性を生かして連携を保ちながら、皆さまの健康をサポートするのが病診連携という制度です。ムダな待ち時間や同じ検査の繰り返しなどを省くことができる、患者さまにとってメリットの多いシステムなのでぜひご協力いただきたいと思います。」

こころ 解説室

- 1 病診連携
かかりつけ医と病院が連携をとることによって、地域の人々へより質の高い医療を効果的に提供する制度。
- 2 地域医療支援病院
医療法改正により1998年に創設された制度。取得にあたっては、紹介患者に対する医療提供、共同利用の実施、「救急医療の提供」、「地域の医療従事者に対する研修の実施」など、数々の高いハードルをクリアする必要があります。
- 3 逆紹介
病院が診療所の先生に(かかりつけ医)に患者さまを紹介すること。
- 4 登録医
当院にご登録いただいている医院・診療所の先生。当院の医師と施設や情報を共有しながら、協力し合って診療にあたること。
- 5 電子カルテ
患者さまの情報をコンピュータで管理するシステム。各医療機関の電子カルテがネットワークで結ばれることで、病診連携はよりスムーズになる。



からだの春夏秋冬

熱中症

暑い季節がもうそろそろやって来ています。今回は暑い時期に気を付けたい熱中症についてです。

熱中症とは?

読んで字の如く、熱(中)と外(た)という意味で、体の中と外の「暑さ」によって引き起こされる様々な体の不調のことです。熱中症には水分喪失型と塩分喪失型があります。水分喪失型は暑い日中での肉体的労働時や乳幼児、高齢者に起こりやすく、口の乾き、倦怠感、興奮、高温、昏睡などの症状が見られます。それに対して塩分喪失型は汗を多くかいた時に塩分を摂取せず、水分だけ取った場合に起こり、強い疲労や頭痛、めまい、悪心、痙攣などの症状がみられますが体温はほぼ正常に保たれます。

熱中症の予防

通気性の良い服を選び、水分補給(スポーツドリンクがお勧め)を心がけましょう。ビタミンやミネラルの不足にならないように食事もしっかり取り、睡眠を

内科医長 齊藤知規



十分にすることも大切です。また体調が優れない時に炎天下での運動は避け、暑さを我慢しないようにしましょう。まじめな人ほど熱中症になりやすい傾向にあります。

熱中症になったら

たまった熱を追いつけず、衣服をゆるめ涼しい場所で水分補給と安静を心掛けてください。意識が悪いなど重症の場合はすぐに病院へお越しください。熱中症で命を落とすこともありまますから侮ってはいけません。だんだんと暑くなっていく時期から、熱中症による大きな事故が報告されるようになります。正しい知識と自覚をもって熱中症の発生を防ぎましょう。

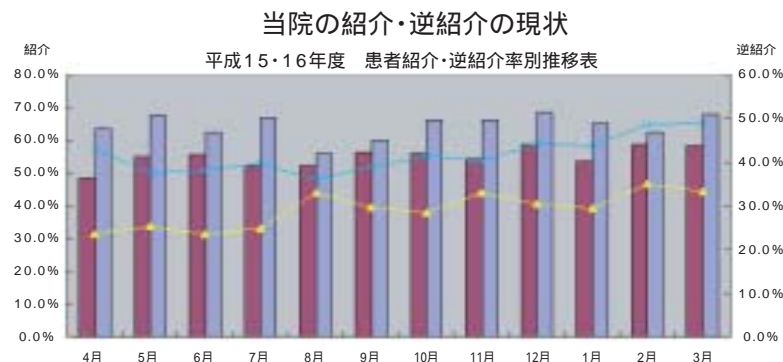
地域連携NEWS

発行 平成17年7月1日
鈴鹿中央総合病院
地域連携室
No.20

HEADLINE

「鈴鹿中央総合病院地域医療連携委員会」開催!!

平成17年6月9日、今年度第一回委員会が開催されました。本会議は医療と行政機関の信頼を深め地域医療の充実をはかることを目的としております。



研修会のお知らせ

鈴鹿地域医療支援勉強会

日時・場所 平成17年 7月14日(木曜日)
18:30~20:30 鈴鹿中央総合病院 / 2階講義室

両研修会とも好評を得ました。



肺の解剖をバナナを使って解説5/12

ACLSの実技6/9

症例検討 「最近経験した急性腹症」
演者：放射線 / 堀切延寿医師

講演 「急性心筋梗塞の治療」
演者：内科 / 宮原真敏医師

RCC 「溺水の一例」
演者：小児科 / 松下弘明医師

BCT

日時・場所 平成17年 7月6日(水曜日)
7:00~8:00 鈴鹿中央総合病院 / 2階講義室

講演 「くも膜下出血」
演者：脳神経外科 / 久我純弘医師

日時・場所 平成17年 7月20日(水曜日)
7:00~8:00 鈴鹿中央総合病院 / 2階講義室

講演 「外傷、急性脱水に対する処置」
演者：外科 / 谷川健次医師

お知らせ

納涼医局会を 7月21日(木曜日)18:00より
鈴鹿サーキットフラワープラザにて開催します。
案内状を郵送しておりますが、お返事未だの方は早急をお願いいたします。

SUZUCHU

医療費助成申請について

医療費助成申請とは

68・69歳老人・心身障害者・乳幼児・一人親家庭等の方に医療費受給者証を交付することにより、医療機関で受診された時に保険診療の自己負担額(老人医療については一部負担金を控除した額)助成する制度です。

対象	要件
68・69歳老人医療費	住民税非課税
心身障害者医療	身体障害者手帳1~3、療養手帳A・B(中度)
乳幼児医療	義務教育集就業前の乳幼児
一人親家族等医療	母子、父子家庭の母または父と18歳までの児童、父子、母子のいない18歳までの児童

当院の医療費助成申請の方法

医療費助成受給資格証をお持ちの方は新患受付及び入退院受付にて医療費助成申請依頼書(鈴鹿中央総合病院専用紙)を記入して受給者証を添えて新患受付及び入退院受付にご提出ください。後日受給証を発行された市町村から振り込みがあります。

申請依頼書の記入は受診された月は必ず記入して提出してください。

なお、県内居住の方は当院より申請依頼書を基に一括して市町村へ申請しますが、県外居住の方は各自にて市町村への申請をしてください。



各種サービスをご活用ください。

母親教室

前期(妊娠4~5ヶ月) 毎月1回 / 7月11日・8月15日・9月12日
後期(妊娠8ヶ月の終わり) 毎月1回 / 7月25日・8月22日・9月26日
場所:どちらも2階講義室 午後1時より3時まで

乳房マッサージについても受け付けております。
詳しくは産婦人科外来
TEL 0593-84-1024まで

外来のご案内

診療受付時間 / 午前8:30~11:30

再来受付機のご利用は午前7:30~11:30まで

休診日 / 土曜・日曜・祝日

年末年始(12月30日~1月3日)

救急の場合は休診日や診療時間帯に関わらず対応いたします。

診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、保険証とあわせて新患受付にお出ください。

保険証に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

患者さまへのご案内

診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。

毎月1回、保険証の確認を行っております。2ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。

受診の際、お車で越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。

紹介状をお持ちの方

紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。また、紹介状をお持ちいただきますと、診察時間を優先させていただきます。

特定療養費について

初診で紹介状をお持ちでない場合は、初診時特定療養費1,575円をいただきます。紹介状をお持ちになれば初診時特定療養費の1,575円は免除されます。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

地域医療支援病院 三重厚生連

鈴鹿中央総合病院

TEL(0593)82-1311

SUZUCHU 外来診療担当医表

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診	濱田正行(循)	山本伸仁(呼)	澤井俊樹(循)	宮原真敏(循)	北井珠樹(循)
	2診	向 克己(消)	川上恵基(血)	斉藤/佐瀬(消)	渡辺泰行(血・免)	岡野 宏(消・肝)
	3診	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	山本伸仁(呼)	西村 晃(肝)
	4診	岡野 宏(消・肝)	渡辺泰行(血・免)	北井珠樹(循)	暮石泰子(循)	澤井俊樹(循)
	5診	山本伸仁(呼)	向 克己(消)	川上恵基(血・免)	濱田正行(循)	高木幹郎(腎)
	7診	宮原真敏(循)	佐瀬友博(消)	市川和秀(循)	齊藤知規(消)	宮原真敏(循)
	8診	藤田 聡(循)	加藤正美(消)	加藤正美(消)	川上恵基(血・免)	加藤正美(消)
	9診	暮石泰子(循)	藤本 源(呼)		石川英二(腎)	田口 修(呼)
	10診	北野滋久(腫瘍)				
	眼科	1診	有馬美香	有馬美香	大学医	有馬美香
2診		泉 奈々	泉 奈々		泉 奈々	泉 奈々
午後		手術	予約検査	予約検査	手術	予約検査
小児科	1診	西 英明	西 英明	西 英明	西 英明	西 英明
	2診	新藤啓司	伊藤響子	新藤啓司	伊藤響子	新藤啓司
			予防接種 (予約制)	乳児健診 1~4M	予防接種 (予約制)	乳児健診 7~12M
耳鼻咽喉科	1診	足立光朗	新患のみ	藤田祐一	藤田祐一	足立光朗
	2診	藤田祐一		大学医	足立光朗	藤田祐一
	午後		手術	手術	PM予約検査	手術
呼吸器外科	1診		水野幸太郎			深井一郎
心臓血管外科					大学医	
外科	1診	谷川健次	田岡大樹	金兒博司		今井俊積
	2診	今井俊積	今井俊積	初診のみ	谷川健次	田岡大樹
	3診	金兒博司	森山貴子	担当医	担当医	森山貴子
整形外科	1診	佐藤憲史	高橋明子	高橋明子	佐藤憲史	奥山典孝
	2診	山田浩之	奥山典孝	稲田 均	稲田 均	稲田 均
	3診	奥山典孝	山田浩之	佐藤憲史	山田浩之	高橋明子
		PM手術	PMギプス	手術	手術	検査
脳神経外科	1診	久我純弘	森川初診紹介のみ	森川篤憲	久我純弘	森川篤憲
	2診	石垣共基	林 真人	久我純弘	石垣共基	林 真人
			手術	脳ドック結果説明	手術	脳ドック結果説明
神経内科	1診	賀川 賢(初診)		賀川 賢(初診)		賀川 賢
	2診	真鈴川 聡	真鈴川 聡(初診)	真鈴川 聡	紹介患者様のみ	真鈴川 聡(初診)
皮膚科	1診	野内伸浩	大学医	野内伸浩	野内伸浩	野内伸浩
	2診	大学医				
	午後	手術			手術	
産婦人科	1診	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二
	2診	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦
泌尿器科	1診	日置琢一	日置琢一	大学医	坂田裕子	鈴木竜一
	2診	坂田裕子	坂田裕子		鈴木竜一	日置琢一
精神科	1診	完全予約初診のみ			完全予約初診のみ	
麻酔科	1診	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇
放射線診療	1診		大学医(午後)		大学医(午前)	大学医(午前)
健診センター		金丸・川原田	西村・川原田	金丸・川原田	西村・川原田	1・3 金丸・川原田 2・4 金丸・西村

(17年7月1日現在)

特殊外来

内科

循環器外来	月・水・木・金曜日
消化器外来	月・火・水・木・金曜日
呼吸器外来	火・金曜日
肝臓外来	月・火・水・金曜日
血液・免疫外来	火・水・木曜日
腎臓外来	木・金曜日

眼科

レーザー治療	火・水・金曜日 午後 要予約
斜視・弱視外来	火・水・金曜日 午後 要予約

小児科

乳児健診	水・金曜日 午後
予防接種	火曜日 午後 (BCG木曜日午後)
慢性疾患外来	水曜日 午後
育児相談	金曜日 午後予約 無料

耳鼻咽喉科

補聴器外来	第2・4水曜日
予約検査	木曜日 午後 14:00~16:00

外科

ストーマー外来	木曜日 14:00~(予約制)
乳腺外来	月曜日 14:00~(予約制)

整形外科

リウマチ科	水・金曜日
-------	-------

産婦人科

乳房外来	火・木・金曜日 午後 予約制
助産婦外来	月~金曜日 予約制
予約・再来	

麻酔科

ペインクリニック	月~金曜日
----------	-------

放射線診療

CT・MRI・RI・放射線治療	要予約
-----------------	-----

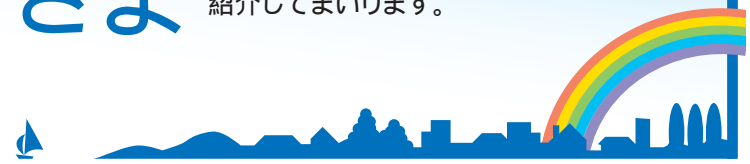
健診センター「オーリーブ」

人間ドック	月・火・水・木・金曜日 (予約制)
脳ドック	月・火・水・木・金曜日 (予約制)
肺がんドック	月・火・水・木・金曜日 (予約制)
*健診センターにて受付致します。	

裏面の
外来のご案内を
ご覧ください

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎月5機開ずつ
紹介してまいります。



川村外科内科



医師名
川村 慶三

診療科
外科 内科 胃腸科
肛門科

特色
大腸・肛門病、特に痔疾患に力を入れています。痔、日帰り、入院手術を行っています。

休診日
日・祝祭日 木曜日午後

診療受付時間
9:00~12:00 16:00~19:00
(土曜日14:00~17:00)

所在地
〒513-0004 鈴鹿市加佐登2-20-1

電話 0593-79-3900
fax 0593-79-3334

医療法人正秀会 八木医院



医師名
八木 秀行

診療科
内科

特色
リウマチ・痛風・膠原病・心身症・うつ病の患者さまが多いです。木曜日の午後は桑名市のクリニックで痛風外来をしています。

休診日
日・祝祭日 木曜日午後

診療受付時間
9:00~12:00 15:00~19:00

所在地
〒513-0814 鈴鹿市東玉垣町2483-1

電話 0593-83-1661
fax 0593-83-3132

白子クリニック



院長
二井 栄
副院長
平田 浩
医師
菅谷 亜弓

診療科
産科 婦人科

特色
安全で快適な分娩をめざし、アットホームな雰囲気の中で、質の高い医療を心がけております。小児科と直結して、産後の育児の不安も解消いたします。

休診日
日曜日午後 水曜日

診療時間(受付/8:30~12:00 14:30~18:00)
9:00~12:00 15:00~18:00
(土曜日14:00~16:00)

所在地
〒510-0235 鈴鹿市南江島町9-15

電話 0593-88-2221
fax 0593-88-3355

駒田医院



医師名
駒田 幹彦
駒田 彦允

診療科
小児科 アレルギー科
内科

特色
一般外来以外に気管支喘息、アトピー性皮膚炎(食物アレルギー)等のアレルギー疾患を中心とした外来。日本小児科学会認定専門医、アレルギー学会認定専門医

休診日
日・祝祭日 木曜日

診療時間(受付/8:45~12:00 14:30~18:00)
9:00~12:00 14:30~18:00
(内科は午前のみ)

所在地
〒510-0232 鈴鹿市北江島町17-15

電話 0593-86-0507
fax 0593-88-3332

ほりさわ眼科



医師名
堀澤 信喜

診療科
眼科

特色
当院では、患者さま自身が、わかりにくい眼の中の病変に対して、一般的な検査以外にカメラ等を使用して、患者さま自身で確認し、より理解を深めていただけるよう努力しています。

休診日
日・祝祭日 木曜日午後

診療時間(受付/診療時間の15分前)
9:00~12:30 15:00~18:00
(土曜日14:00~17:00)

所在地
〒513-0831 鈴鹿市庄野町904-2

電話 0593-70-2800
fax 0593-70-1715